

大使館からのお知らせ

【安全情報8月分】当地報道より、殺人、強盗事件や自然災害など、先月8月に報じられた皆様の安全に係わる情報の概要をお知らせしています。

先月に引き続き、リンコンデラビエハ火山・ポアス火山・トゥリアルバ火山の噴火活動の活発化が予想されるため、引き続き警戒が必要です。火山活動に関連し地震についても同様の警戒が必要です。今後も最新の情報入手に努めてください。

ラ・ナシオン誌によると、2017年7月末日での国内で発生した殺人件数は、前年同期比+15件の335件となりました。過去最高を記録した前年の578件を上回るとみられています。

●サンホセ県

「33歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月2日午後1時過ぎ、ティバス市レオントレセで33歳男性が妻と3歳の子供を車に乗せていたところ、ある男性が近付いてきて33歳男性に向け発砲した。6発の銃弾を受け男性は死亡、妻は怪我を負った。被害者は複数の逮捕歴があり、報復による犯行とみられている。

「45歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月3日午後8:40、モラビア市の45歳男性の住む自宅に、突然2人組の男がやって来て銃撃された。6発銃弾を受け男性は死亡、2人はオートバイで逃走した。被害者は、26回起訴された過去があり報復による犯行とみられている。

「26歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月5日午後10:00、アセリ市で26歳男性が銃撃され、銃弾を8発受けて死亡した。死亡した男性は自動車整備士で、バーに向かう途中だった。

「23歳男性宅で、銃撃され怪我」(殺人未遂)

8月5日午後8:00、エスカス市で23歳男性宅に家族が集まっていたところ、突然ある男性が家の中に入ってきて男性に向かって発砲し逃走した。銃撃された男性は幸いにも怪我だけで済んだ。

「窃盗グループ3名を逮捕」(窃盗事件)

8月8日、エスカス市・サンタアナ市・クリダバ市・ベレン市の高級住宅17軒に泥棒に入り、盗んだ高級品を転売していた窃盗グループ4名のうち3名が逮捕された。16ヶ月の間、犯行を繰り返していた。

「22歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月8日午前、ティバス市クアトロレイナスで22歳男性が道を歩いていたところ、何者かに銃撃され、銃弾を3発受けて死亡した。報復による犯行とみられている。

「23歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月10日午前1:00、モンテスデオカ市のバーの前で23歳男性が複数の男性に囲まれ至近距離から銃撃された。男性は銃弾を4発受け死亡した。被害者は多数の前科があり、麻薬密売のテリトリー争いで殺害されたものとみられている。

「22歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月11日午前1:20、ゴイコエチェア市で22歳男性が家の前で複数の友人と話をしていたところ、突然バイクに乗った2人組が現れ銃撃された。この銃撃を受け、22歳男性は銃弾を3発受け死亡、一緒にいた男性36歳はケ怪我を負った。

「38歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月11日午後9:20、サンホセ市ラカルピオで38歳男性が何者かに銃撃され死亡した。目撃者も無く、詳細不明となっている。

「24歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月16日午後10:30過ぎ、デサンパドス市で24歳男性が複数の友人と一緒にいたところ、オートバイに乗った2人組がやって来て24歳男性に向け発砲した。16発の銃弾を受け男性は死亡、一緒にいた友人も足に銃弾を受け怪我を負った。麻薬関係の抗争が原因とみられている。

「23歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月17日午後10:30、ラウルカ市で23歳男性が友人と歩いていたところ、反対から歩いてきた男性2人組と口論になり、1人が23歳男性に向け発砲し銃弾を4発受け死亡した。被害者はニカラグア人で麻薬中毒者だった。

●リモン県

「28歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月4日午後4:05、リモン市で28歳男性が自宅前で銃撃され死亡した。この男性は自宅に戻る前に付近で交通事故を起こしており、そのまま自宅に戻ったところだった。報復による犯行とみられている。

「29歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月18日午後9:00、マティーナ市で29歳男性が道を歩いていたところ、オートバイに乗った2人組が近付いてきて銃撃され死亡した。

「男性2名、銃撃され怪我」(傷害事件)

8月25日午前0:00、シキイレズ市で男性2人が銃撃を受け病院へ搬送された。その後、覆面を被った男性2人組が病院へやってきて、搬送された2人に対し30発発砲し逃走した。銃弾は当たらずそれ以上の怪我は無かった。

「54歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月24日午後10:20、ポコシ市グアピレスで54歳男性が自宅で10歳、5歳の娘と食事をしていたところ、オートバイに乗った2人組が家に入ってきて銃撃された。この銃撃を受け54歳の男性は死亡した。報復による犯行とみられている。

「37歳、20歳男性、全身を殴られ死亡」(殺人事件)

8月27日午後、シキイレズ市で37歳と20歳の男性2名の遺体が発見された。2人は無職で住居も無く、全身に殴られたような痕があった。強盗や麻薬密売の前科があり、麻薬関係の抗争とみられている。

●アラフエラ県

「33歳男性、バールで殴られ死亡」(殺人事件)

8月5日午前7:30、サルセロ市で33歳男性が自宅にいたところ、突然2人組の強盗が入ってきてバールで殴られ死亡した。この時、自宅にいた64歳の母と従業員1名が怪我を負った。犯行に及んだ2人のうち1人は、元従業員のニカラグア人だった。

「自宅にあった銃で遊んでいたところ、誤って発砲し13歳少年死亡」(殺人事件)

8月6日午後5:00、14歳少年の自宅で13歳少年と一緒に遊んでいた。自宅にあった未登録のけん銃で遊んでいたところ、14歳少年が誤って発砲し13歳少年を殺害した。

「33歳男性、銃撃され殺死亡」(殺人事件)

8月21日午後4:40、33歳男性が自宅に向かって歩いていたところ、車が接近してきて銃撃され、銃弾を12発受け死亡した。被害者には盗難等の前科があり、報復による犯行とみられている。

●エレディア県

「36歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月3日午後2:50、エレディア市グアラリで36歳男性が自宅車庫の椅子に座っていたところ、2人組の男性が近付いてきて突然発砲した。この銃撃を受け男性は死亡した。被害者は、強盗・麻薬等多数の前科があり、報復による犯行とみられている。

●カルタゴ県

「21歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月11日午後10:25、ラウニオン市で21歳男性が道端に立っていたところ、突然オートバイに乗った男性がやって来て銃撃された。この銃撃を受け男性は死亡。報復による犯行とみられている。

「ナショナル銀行に強盗」(銀行強盗)

8月17日午後2:00、エルグアルコ市のナショナル銀行に強盗が入った。被害は、現金360万コロンで犯行の手口は、先に1人が店内に入ってセキュリティチェックを受けている間に仲間3人が無理矢理入ってきて銃で脅すという手口だった。同月1日にアティージョで起きた強盗事件とほぼ同じ手口で同一犯の可能性が高いとみている。

「36歳、25歳、19歳の男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月19日夜、エルグアルコ市の麻薬密売をしていた家の裏で36歳と19歳の男性の死体、および家の中から25歳男性の遺体が発見された。3人とも銃撃され殺害されており、麻薬関係の抗争が原因とみられている。

●プンタレナス県

「42歳警官、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月12日午前1:50、グアナカステを出発したトレーラーが襲われ強奪された。トレーラーにはGPS機能が設置されており警官2名が現場に駆けつけたところ、男性2名に銃撃された。この銃撃を受け42歳の警官が死亡、36歳の警官が怪我を負った。応援の警官が駆けつけ男性2名の逮捕に至った。この事件には麻薬密売が関係していた可能性が高いとみられている。

「行方不明の35歳男性、26歳女性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月13日午前11:00、エスパルサ市の山奥で同月11日から行方不明になっている3名が乗っていたとみられる車両が発見された。乗っていたうちの1人、35歳男性は頭部を殴られた痕があり、さらに銃撃され殺害されていた。翌14日には100メートル離れた場所から、26歳女性も頭部を銃撃され殺害されているのが発見された。被害者には麻薬や銃による傷害の前科があり、報復による犯行とみられている。

●グアナカステ県

「24歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

8月13日午後8:15、バガセス市で24歳男性が自宅前で、突然現れたオートバイに乗った2人組に銃撃され、死亡した。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または tadashi.washio@mofa.go.jp (鷺尾)まで